

す・とうぶだより 12月

令和7年
(2025年)

過去の誌面



畑
隊
員

退任のご挨拶

この度、一身上の都合により、12月末をもちまして地域おこし協力隊を退任させていただくことになりました。短い間でしたが、地域の皆さまのおかげで活動することができました。心より感謝申し上げます。

この地で皆さまとお付き合いさせていただく中で、たくさんの貴重なご縁をいただきました。これから、このご縁を大切にしながら繋がりを持ち続けられたら嬉しいです。

大変お世話になりました。本当に有難うございました。(畑やすよ gratefuldays8@gmail.com)



10/25 地域のふれあい、つながりを大切に！

【第1回 狭川ふれあいわくわくフェア】に地域の方々が集いました。カラオケ大会にお笑い動画鑑賞、そしてドキドキの高級グルメ大抽選会!! ㊤ 高級鰻やら国産松茸やら… ㊤

皆さんにわくわくしていただくという企画者の思いが随所に伝わってきたイベントでした ㊤

次回も楽しみですね ㊤



11/15 大エンターテイメント！

【第3回 大柳生おたのしみフェスタ】

体操、ゲーム、豪華なお弁当！認知症対策の講義や、グループに分かれて防災や農業、趣味など輪になってグルーptーク。大トリは、地元の歌姫オンステージ!!

認知症防止にも大切なコミュニケーション。なってしまうと安心して過ごせる地域を目指して、SOSは遠慮なく東部包括支援センターへ！とのことでした ㊤



準備体操担当は
元地域おこし協力隊の寺尾さん！
お馴染みのしかまろくんTシャツ&
ボシエットとともに

地域のレポートや詳細は「地域おこし協力隊」
Facebook・Instagramにて。



Facebook



Instagram

日本茶・抹茶バイヤーさんと出会いました。ヨーロッパへ販路を広げたい方、お繋ぎします。耕作放棄地をチームで抹茶にしたいですよー！
何人か集まればできそう!? 抹茶に適した品種があるとか? ㊤ 山のお手入れ、売買にご興味ある方も。問い合わせ: gratefuldays8@gmail.com(は)まで。



11/16 ナチュラル・ファーム福井さん率いる 【第5回 田原cha茶chaカーニバル】

お茶づくしの一日 ㊤ とても良いお天気でした ㊤
朝一からイベントへいらっしゃるお客様で渋滞?! 離れた駐車場もすぐに満車に。生産者さんとお客様の距離がグッと縮まるイベントとなりました。年々増えてゆくお客様と、出店者さんたちがもう次回を楽しみにしているのが印象的でした ㊤

組み立て式茶室「若竹庵」で
お抹茶をたてていたのは
元地域おこし協力隊の若井さん!



森川
隊
員

朝晩は冷え込むものの、山は秋色に染まりその美しさを有難く感じる毎日です。さて、今年の6月から参加している柳生公民館の俳句の会、「柳生句会」。1か月に1回の句会が今の私にとって大変豊かな学びの場となっています。一度、全く句が作れずに参加したときのこと。参加されている先輩方から作句のご助言を頂きました。「焦点を一点に絞ること」「日々の感動を書き留めておくこと」「読み手に想像させること」刻々と移り変わる自然、旬の食べ物、幼い息子達との時間、亡き人達の記憶など、心感じるまま俳句にできたら…。喜びも哀しみもかけがえのない「生」として残したい、という思いで作句する日々です。



戦争の記憶を語り継ぐ

前回のす・とうぶだよりでご紹介した、柳生地区で終戦を迎えられた戦没者ご遺族であるAさん。お父様が中国戦線に出征され、家業を切り盛りしていたお祖父様が孫であるAさんを愛情深く育てられました。毎晩お祖父様の胡坐の上で読んでもらった絵本は「宝物」だとAさんは言います。

しかし、お祖父様は戦争終結直前の昭和20年8月4日に逝去されます。米や酒、魚さえも不足する時世、葬儀を執り行うための食料確保が大きな問題となりました。

窮状を救ったのは、お祖父様の工場で働いていた方でした。夜中にAさんのお母様と共に闇米を肩に担いで運び入れてくださったそうです。水車で「コットンコットン」と精米するのをAさんは盗まれないよう夜を徹して見張っていたと言います。

知り合いの多かったお祖父様のお通夜には、たくさんの方々が参列しました。Aさんのお母様は親戚の方々に手伝ってもらいながら、梅干入りのごま塩おむすび2個を竹の皮に包んで渡されました。しかしそこには知らない人も来ていたそうです。翌日のお葬式にも、見知らぬ人々が参列しています。地域の中で話が広まっていたなのでしょう。それはおむすびを目当てに集まった人々の姿でした。香典袋の中にお金はなく、新聞の切れ端が入っているものも沢山あったと言います。葬儀のために用意された米1俵(60kg)は、四十九日までにすべて底をついたそうです。

食に困窮する人々の姿、戦時下の悲惨な現実が、この葬儀の様子から浮かび上がります。(次回に続く)

12月の活動予定 (11/19現在)

- ・ SNS配信 ・ 自分ごと化会議の準備
- ・ 地域の集まる場の企画 など